



XIB アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 共催ウェビナー

インド合併の見取図（組成から出口を見据えて）

インドの経済成長については日本でも日々報道されており、そのポテンシャルへの注目は増すばかりです。国連の推計によれば、来年にはインドの人口が中国を上回るとされています。パンデミックの中で、インドは当初急激な感染拡大に見舞われ、厳格な移動制限・行動制限を余儀なくされ、2020年の成長率はマイナスであったものの、2021年には急回復し、2022年の終わりを迎えては、公共の場におけるマスク着用推奨等の軽微なものを除き、各種制限はほぼ撤廃されたと言ってよい状況となっています。インド入国時のワクチン接種証明書又はPCR検査の陰性証明書の提出・自己申告の要件も廃止されました。経済成長率もほぼコロナ禍前の水準まで回復しています。

日本においても、コロナ禍における各種制限は大幅に緩和されており、社会経済活動を推進する機運が高まっています。また、感染拡大に厳格な対応を維持してきた中国経済の状況なども踏まえて、インドにおける投資機会に向けられる関心も高まっています。

一方で、日系企業の対印投資が拡大した結果、投資を引き上げなければならない場面や合併を解消しなければならない場面も相対的に増加しています。特に合併の形で進出した場合には、合併パートナーの存在もあり、必ずしも投資の引き上げや合併の解消が容易でない場合もあります。

本セミナーでは、インド進出の形態として多く用いられる合併をテーマの中心に据え、その組成に関する論点のみならず、出口を見据えた論点について、法務の観点から解説します。

日時 2023年1月24日（火）14時～15時

場所 Microsoft Teams を使用したヴァーチャルセミナー（ウェビナー）形式で実施します。

参加費は無料です。

講師 大河内 亮（アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法共同事業 弁護士）

国際的な企業買収、合併事業、企業組織再編を専門とする。とりわけインドにおける案件の経験を多く有する。2008年にインド・ニューデリーの Amarchand & Mangaldas 法律事務所（現 Shardul Amarchand Mangaldas & Co）勤務。

お申込み 本セミナーにお申込みを希望される方は、下記担当者までお知らせください。

担当：原田 透（XIB マネジングディレクター）

連絡先：toru.harada@xibcapital.com / 03-6259-1156